

文字もじMOJIの世界

2. 東アジアでの文字に対応する Pan-CJK フォント 山本 太郎*

2014年にアドビとGoogleは、東アジアの日本、韓国および中国語圏（簡体字及び繁体字の漢字を用いる）の国々で利用でき、それら地域の文字を同一文書と一緒に用いても書体デザインの一貫性を維持できる、Pan-CJK フォント「源ノ角ゴシック」（英文表記は Source Han Sans, Googleでは Noto Sans CJK の名称を使用）の書体ファミリーをアドビとGoogleの共同で開発し、オープンソースのフォントとして発表した。アドビのチーフタイプデザイナーの西塚涼子が書体デザインを担当した。

従来、東アジアの上記の地域で読まれることを想定した多国語の文書制作では、各地域の言語に合わせたフォントを別々に準備する必要があった。地域ごとに必要なグリフ（字体）が異なるからである。同じ文字でも、漢字の「骨」のグリフは、簡体字と繁体字と日本及び韓国で異なる。（図1）

他方で漢数字の「一」に地域間の違いはない。文字ごとに各地域で最も標準的なグリフを明らかにし、別々のグリフとしてフォントに収録する必要があるか、必要な場合、どのグリフが必要か、逆に、地域間でグリフの形の差異が微細なら、統合して一つのグリフにすることが可能か。この判断を各文

字ごとに行う必要がある。どの地域でも広く使えるようにするには、各国のグリフの形状に対する嗜好性を尊重する必要がある、統合・不統合の判断が難しい場合もある。

日本語用のグリフについてはアドビが先行して制作し、その後、他の拡張漢字の制作は、中国の Changzhou SinoType と日本のイワタ、韓国語のハングルについては、韓国の Sandoll Communications に制作協力を依頼した。グリフの統合の可否については、西塚涼子が、各国の書体デザイナーとPan-CJKフォントのアーキテクチャを設計したアドビのケン・ランディ博士の意向を汲みながら判断を下した。各国のデザイナー間で意見が異なる場合、議論して調整する必要があった。

「源ノ角ゴシック」の漢字デザインは小塚ゴシックをベースにしているが、字面とカウンタースペースの大きさはより小さく、抜本的にリデザインされている。電子書籍での読みやすさも考慮し、カウンタースペース（文字の中で画線に囲まれた空白の部分）の大きさは控えめに処理し、伝統的なゴ

骨 骨 骨 骨

中国語 中国語 日本語 韓国語
簡体字 繁体字

シック書体の要素を残している。（図2）

他方、スマートフォンのメニュー表示など、短い語句での利用も考慮し、直線的な画線も取り入れ伝統的になりすぎない工夫がなされた。

2017年4月には、「源ノ明朝」（英文表記は Source Han Serif, Googleでは Noto Serif CJK の名称を使用）の書体ファミリーをアドビとGoogleの共同で開発し、オープンソースのフォントとして発表した。「源ノ角ゴシック」と同様、西塚涼子が書体デザインを担当し、拡張漢字については前述の三社に制作協力を仰いだ。「源ノ明朝」もPan-CJKフォントとして、東アジアの漢字圏で利用できるだけでなく、東アジアの異なる地域で用いるグリフを混植した場合でも一貫した書体デザインが得られる。（図3）

「源ノ明朝」のデザイン作業は「源ノ角ゴシック」よりも難しくなった。明朝体は、長い漢字の書記と印刷の歴史の中で、東アジア各地域で独自の発展を遂げた。グリフの形の地域間の差異も多様で、本文用書体として長く利用されてきたため、人々の文字の形に対するこだわりもより強い。西塚涼子は、伝統的な傾向に歩み寄りつつも、画線構成を単純化した。仮名のデザインでは、筆で書いた文字

図1 「骨」のグリフ

*YAMAMOTO, Taro
アドビシステムズ株式会社
研究開発本部 Typekit 日本語タイポグラフィ シニアマネージャー
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
tyamamot@adobe.com

中国語簡体字 那时，天下人的口音、言语都是一样。
 中国語繁体字 那時，天下人的口音、言語都是一樣。
 日本語 全世界は同じ発音、同じ言葉を持っていた。
 韓国語 온 땅의 구음이 하나ियो 언어가 하나이었더라.

図2 源ノ角ゴシック Medium

中国語簡体字 那时，天下人的口音、言语都是一样。
 中国語繁体字 那時，天下人的口音、言語都是一樣。
 日本語 全世界は同じ発音、同じ言葉を持っていた。
 韓国語 온 땅의 구음이 하나ियो 언어가 하나이었더라.

図3 源ノ明朝 Regular

の形の在り方を探る試行を重ねたが、それを過度に強調することなく、控えめに文字の形態に定着させた。「源ノ明朝」には伝統的な性格と現代的な簡潔さが共存している。オープンソースフォントとして提供されることで、従来、高品位なフォントの利用が難しかった用途でも広く使われ、フォント利用の活性化に貢献できることを期待している。 ■

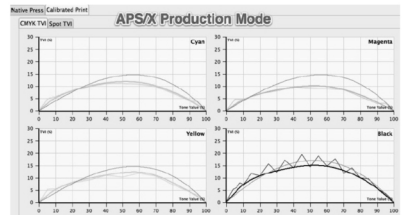
カラーコントロールシステム

既設の印刷機にカラーコントロール機能を追加し生産性を高めます。



Digital Information

Alwan
Color Expertise



デジタルインフォメーション社 Ink Zone は品質評価用の「自走式濃度計」を利用したカラーコントロールを実現

アルワン社 プリントスタンバイザーは測定したカラーバーから標準印刷の可否判定を行います。

PROVALUE

(株)プロバリュー

大阪府吹田市江坂 1-10-17 E

Tel 06-6330-0905

<http://www.provalue.co.jp/>

その他 取扱い製品

SHOTS 印刷機トレーニングシミュレーター

操作・訓練方法 動画配信中

<http://www.youtube.com/user/hiproprinting>